

汎用データギャザリングパネル

Infilex™ GD

形WY5510W1000

■ 概 要

Infilex GDは、建物内の各種設備に関するデータの収集・状態の監視・運転操作などをする汎用端末伝送装置です。

Infilex GDは、ベーシックユニットと最大16台まで接続可能なI/Oモジュールと設定器類インタフェースモジュールで構成されます。管理するポイントの総数に合わせて種類や数を柔軟に変更できます。オペレーションについても、オペレータ用表示設定器を接続し、さまざまなシチュエーションに対応できます。

また、Infilex GDは、弊社中央監視装置とIP通信により接続できます。運転状況を監視するシステムへの送信や、中央監視システムからの指令に基づく運転管理など、建物全体の統一管理が行えます。



■ 特 長

- 小型
盤内の省スペースを実現します。
- I/Oモジュール構造
実現するアプリケーションに合わせて入出力種別の選択や実装点数が増減できます。
- オペレータ用表示設定器接続可能
表示設定器(盤表面型/一体型から選択可)を接続し、コントローラ近傍での設定変更操作ができます。
- ワイヤレスセンサ選択可能
接続する温度センサや温湿度センサをワイヤレス、またはワイヤードから選択できます。
- 中央監視装置との協調
中央監視装置と接続し、中央からの各設備を集中管理できます。
- 自律分散
中央監視装置に異常が発生した場合でも単独でバックアップ動作を行います。
故障時のリスクを分散できます。
- 施工方法
制御部・IP部間の通信端子台にワンタッチねじネス端子台を使用し、通信端子台にモジュラーコネクタを使用しているため、配線作業を省力化できます。
取付方法をDINレール取付、またはねじ取付から選択できます。

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。

特に ● 人体保護を目的とした安全装置 ● 輸送機器の直接制御 (走行停止など) ● 航空機 ● 宇宙機器 など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■ 計装設計上のお願い

万が一、本製品に故障などが生じた場合を考慮し、システム・機器全体の安全設計を実施してください。

■ 設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、15年です。

なお、設計推奨使用期間は、寿命部品の交換など、定められた保守が適切に行われていることを前提としています。

製品の保守に関しては、保守の項を参照してください。

■ 「警告」と「注意」



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

■ 絵表示



記号は、明白な誤操作や誤使用によって発生する可能性のある危険 (の状態) を警告 (注意) する場合に表示 (左図は感電注意の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を禁止する場合に表示 (左図は分解禁止の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合に表示 (左図は一般指示の例)。

⚠ 警 告



本製品は盤内など管理者以外が触れない場所に設置してください。
感電するおそれがあります。



本製品はD種接地以上に接地してください。
不完全な接地の場合、感電のおそれや故障の原因になることがあります。



配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。
感電のおそれや故障の原因になります。



端子カバーを着脱するときは、配線が活線状態でないことを確認し、結線作業後は端子カバーを元に戻してください。
端子カバーをしないと感電するおそれがあります。

⚠ 注 意



本製品は仕様に記載された使用条件 (温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など) を満たす場所に設置しその仕様範囲内で使用してください。
火災のおそれや故障の原因になることがあります。



雷対策は、地域性や建物の構造などを考慮し、実施してください。
対策しないと、落雷時に火災や故障拡大の原因となります。



本製品をノイズの多い環境に設置するときは、ノイズ対策を行ってください。
誤動作したり、故障する原因となるおそれがあります。

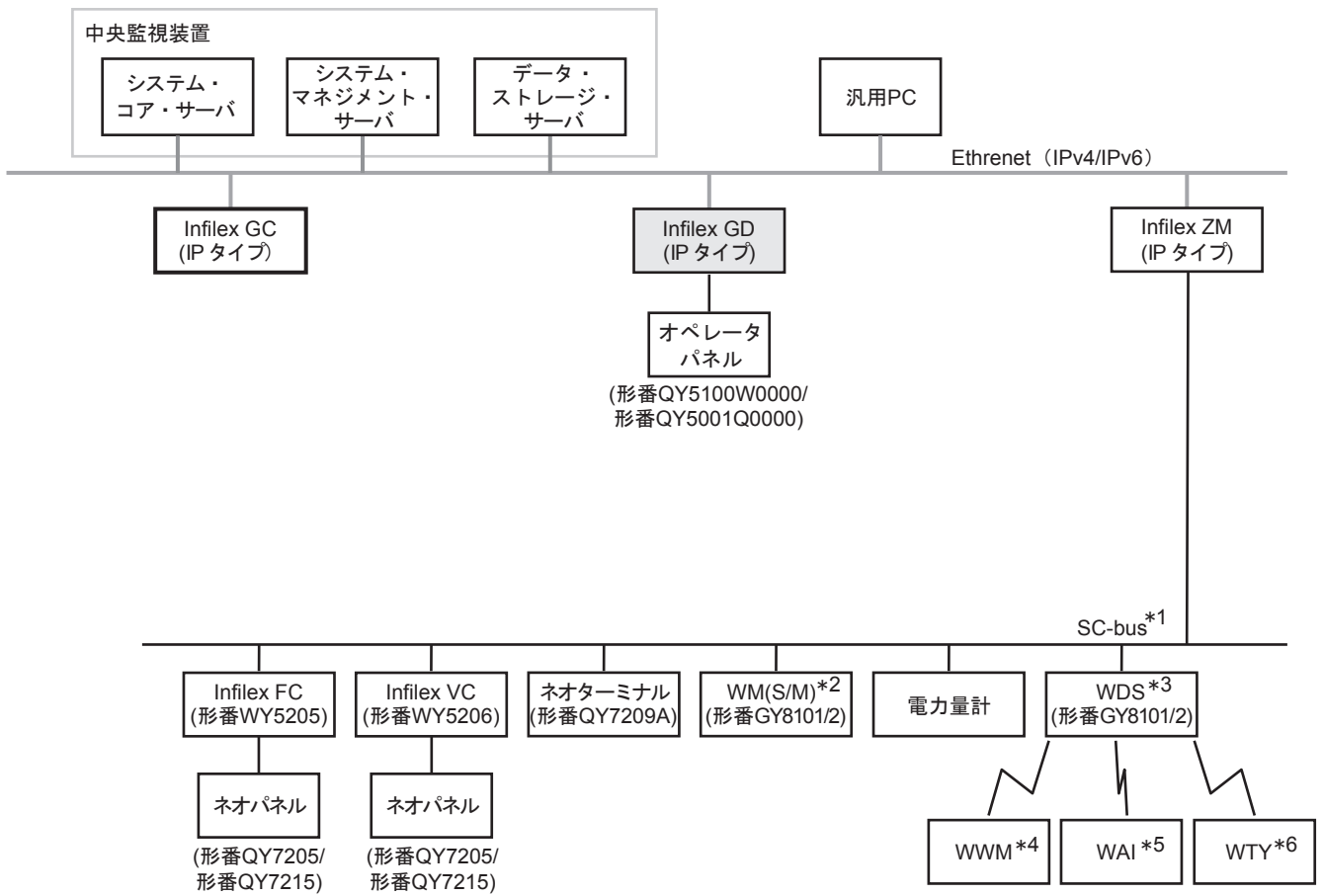
⚠ 注 意

❗	取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。
❗	配線については、内線規程、電気設備技術基準に従って施工してください。施工を誤ると、火災のおそれがあります。
❗	端子台に接続する圧着端子に絶縁被覆を使用してください。 絶縁被覆がないと、短絡による火災や感電のおそれがあります。
❗	端子ねじは確実に締めてください。 締め付けが不完全だと火災のおそれや発熱の原因になることがあります。
❗	配線の被覆むき長さは、仕様に記載された寸法を守ってください。 長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡することがあります。短すぎると導電部が接触しないことがあります。
⊘	本製品の空き端子は、中継などに使用しないでください。 故障の原因になることがあります。
⊘	本製品の通風孔を、ふさがないでください（また、保護シートは設置・結線後にはがしてください）。 通風孔をふさいだままにすると、故障の原因になることがあります。

⚠ 注 意

❗	本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、安全のために新品に交換してください。 そのまま使用すると、火災のおそれがあります。
⊘	本製品を分解しないでください。 故障の原因になることがあります。
❗	本製品のバッテリーを交換する場合は、本説明書で取付方法を確認のうえ、正しく取り付けてください。 バッテリーの発熱、破裂、液漏れの原因になることがあります。
❗	使用後のバッテリーは火中に投げたり、そのまま廃棄しないで、各自治体の条例に従って適切に処理してください。 破裂や発火のおそれがあります。

■ システム構成



*1 SC-busは、サブコントローラバスの略称です。
接続台数50台以下 (ネオターミナルは、10台まで)、接続距離1000m以下

*2 WM (S/M) ワットメータ (シングルサーキット) の略称です。

*3 WDSは、ワイヤレスデータスポットの略称です。

*4 WWMは、ワイヤレスワットメータモジュールの略称です。

*5 WAIは、ワイヤレスアナログインプットアダプタの略称です

*6 WTHは、ワイヤレスサーモヒューミセンサの略称です。

(注) 接続可能な中央監視装置については、弊社担当者にお問い合わせください。

図1 システム構成例

■ 形 番

形 番			内 容
WY5510			基礎形番
	W		ワイド電源
		1000	固定

● 別途手配品 (取付方法により選択)

形 番	内 容
83165861-001	ねじタブ
83104567-001	DINレール押さえ金具

■ 仕 様

項 目			仕 様
電源仕様		定格電圧	AC100～240V 50/60Hz
		使用電源電圧	AC85～264V 50/60Hz
		電源断検出	AC80V以下
		消費電力	57VA
		漏えい電流	2mA以下
環境条件	定格動作条件	周囲温度	0～50℃
		周囲湿度	10～90%RH (ただし、結露なきこと)
		標高	2,000m以下
		振動	3.2m/s ² 以下 (10～150Hz)
	輸送・保管条件	周囲温度	－20～60℃
		周囲湿度	5～95%RH (ただし、結露なきこと)
		振動 (保管)	3.2m/s ² 以下 (10～150Hz)
		振動 (輸送)	9.8m/s ² 以下 (10～150Hz)
設置場所			盤内取付
LED表示			『■ 表示』を参照してください。
停電保持		RAM* ¹ 、RTC* ²	リチウム電池による
		データファイル	不揮発性メモリによる
通 信	Ethernet (IP通信部)	規格	ISO/IEC8802-3 (IEEE802.3)、10BASE-T/100BASE-TX 自動認識・自動切替
		通信速度	100Mbps/10Mbps
		通信モード	半二重/全二重、自動認識・自動切替
		接続距離	100m max. ISO/IEC8802-3の仕様
		IPアドレス初期値	IPv4：192.168.1.240 IPv6：MACアドレスにより自動生成
質量			900g
主要部材質、色			変性PPE、ライトグレー
接続方式		電源、接地	端子台：M3ねじ (ピッチ7.62mm)
		Ethernet	RJ45モジュラーコネクタ
		機器内通信	ワンタッチねじレス端子台

*1 自由に書き込み、消去ができるメモリのことです。
電源をOFFにすると、記憶内容が消去されてしまいます。

*2 リアルタイムクロックのことです。
電源OFF時に、リチウム電池によりバックアップされ、計時を保証します。

■ 配線仕様

● IP通信部

項 目	配 線	配線長	条 件
電源	IV2.0mm ² 、またはCVV2.0mm ² 以上	---	---
接地	IV2.0mm ² 、またはCVV2.0mm ² 以上	---	D種接地相当
Ethernet	2対UTPツイストペアケーブル、カテゴリ5	100m	---
機器内通信	IV、またはKPEV0.9mm ²	---	強電系と同じダクトに入れないこと

(注) 棒端子は、使用できません。

● I/Oモジュール

I/Oモジュール、オペレータパネル(一体型)、UTモジュール、SAnetインタフェースモジュールの配線仕様は、『AI-6527 Inflex GC、Inflex GD、Inflex AC、PARAMATRIX 4用 I/Oモジュール、ユーザーターミナルモジュール SAnet インタフェース 形番RY50** 仕様・取扱説明書』を参照してください。

■ 外形寸法

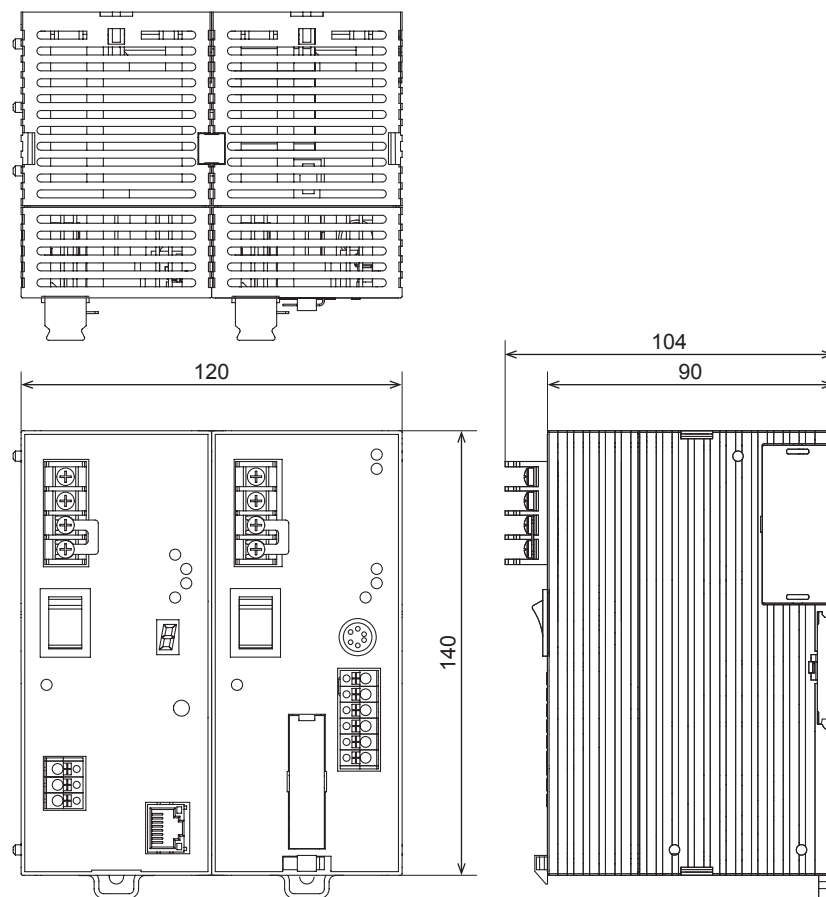
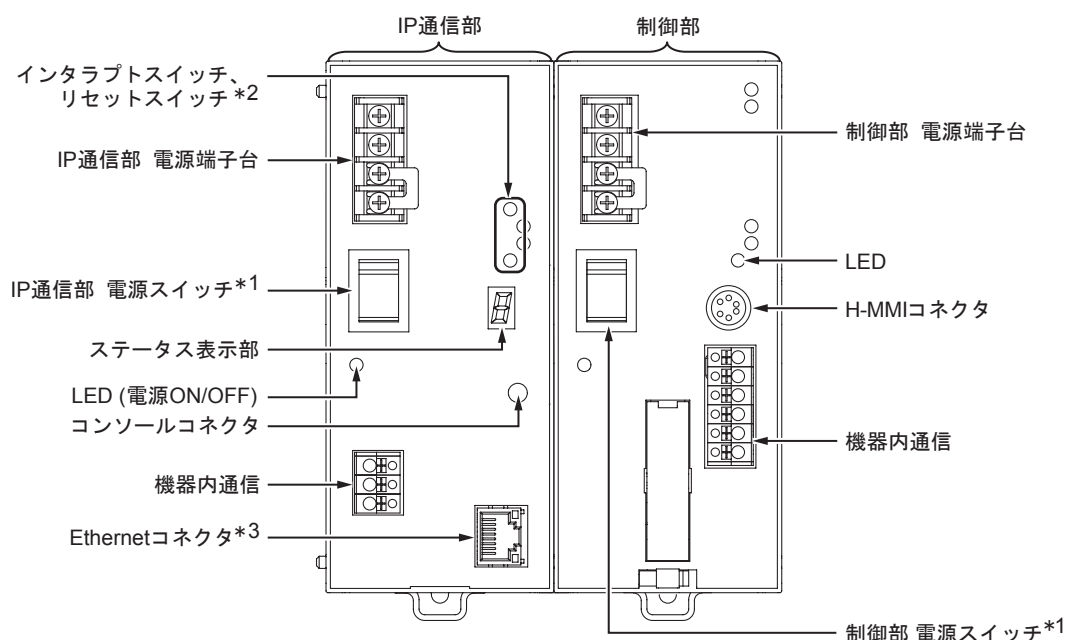


図2 Inflex GD外形寸法 (mm)

■ 各部の名称



- *1 IP通信部と制御部の電源スイッチは、別にあります。
 *2 インタラプトスイッチとリセットスイッチは、押さないでください。
 *3 10BASE-T/100BASE-TX対応のRJ-45コネクタを使用しています。

図3 各部の名称

■ 取 付

⚠ 注 意



取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。

● 取付場所

- 本製品は、盤内に取り付けてください。
- 高温高湿になるような場所を避けてください。
- 本製品の上部および下部は、他機器と35mm以上離してください。

● 取付姿勢

取付姿勢は、『図4 取付姿勢』のとおりとします。傾けた姿勢は、放熱性能が低下し、異常な内部温度上昇を起こす可能性があるため、禁止します。

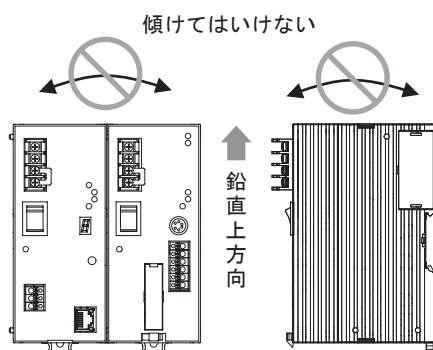


図4 取付姿勢

● 取付禁止姿勢

傾けた姿勢、横に倒した姿勢、天井面、底面への取り付けは、放熱性能が低下し、異常な内部温度上昇を起こす可能性があるため、禁止します。

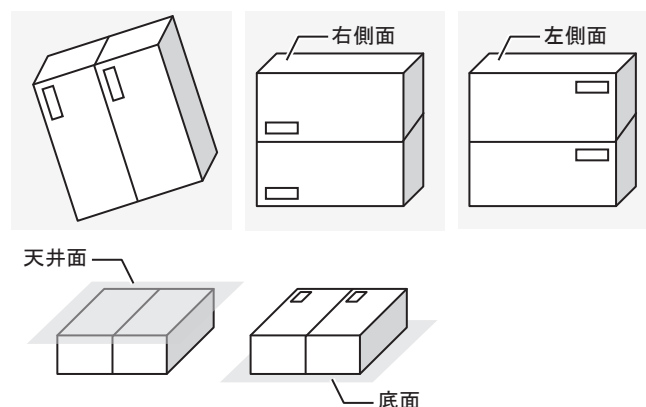


図5 取付禁止姿勢（傾けた姿勢・横に倒した姿勢）

また、製品の上部にものを置くなどして通気口をふさがないでください。

● DINレール取付

DINレール取付時の寸法を『図6 DINレールへの取付』に示します。

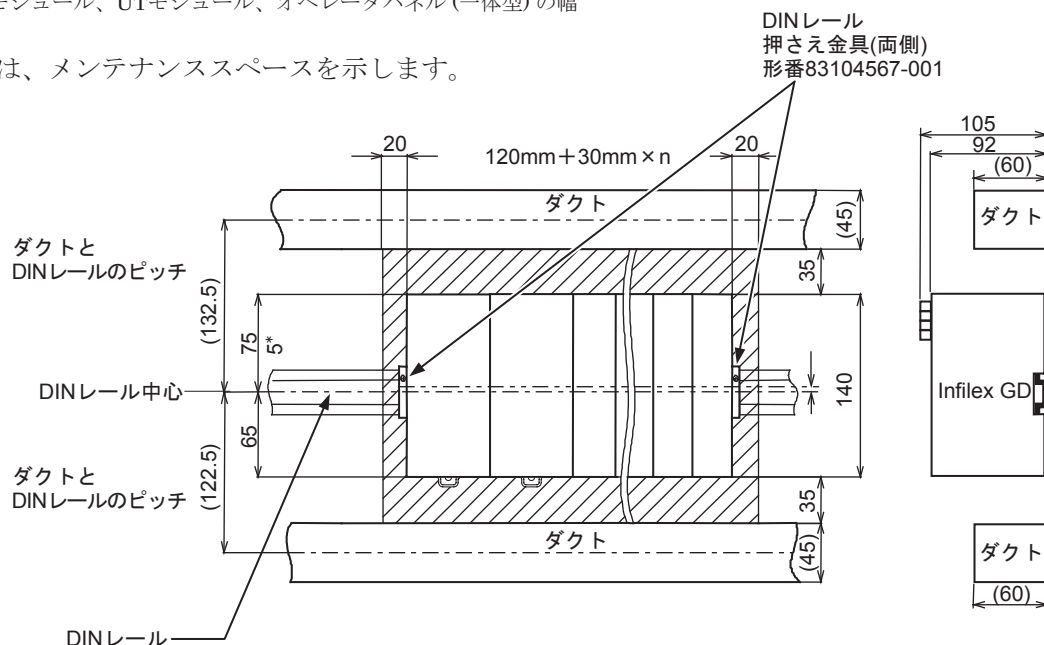
横寸法は、組み付けるI/Oモジュール、オペレータパネル(一体型)、UTモジュールの台数によって変わります。

横寸法 = $120\text{mm}^{*1} + 30\text{mm}^{*2} \times n$ (台数)

*1 Infilex GD本体の幅

*2 I/Oモジュール、UTモジュール、オペレータパネル(一体型)の幅

斜線部は、メンテナンススペースを示します。



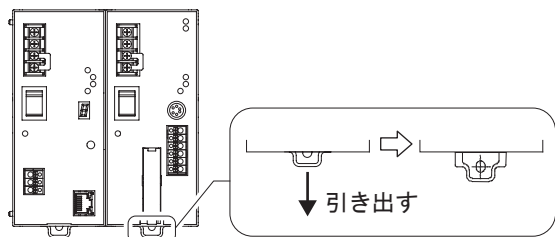
* DINレールの位置は、Infilex GDの中心から5mm下方にオフセットしています。

図6 DINレールへの取付

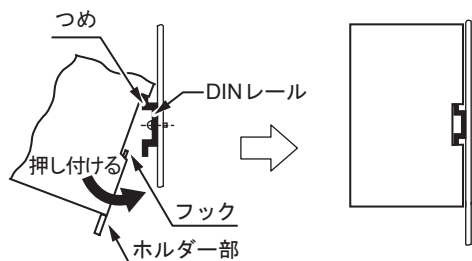
- (注) 1. 接続できるモジュールの詳細は、『AI-6527 Infilex GC、Infilex GD、Infilex AC、PARAMATRIX 4用 I/Oモジュール、ユーザーターミナルモジュール SAnet インタフェース 形RY50** 仕様・取扱説明書』を参照してください。
2. オペレータパネル(盤表面型)は、Infilex GDに直接組み付きません。
詳細は、『AI-6546 Infilex AC/GC/GD用表示設定器 オペレータパネル 形QY5100W0000、形RY5001Q0000 仕様・取扱説明書』を参照してください。

DINレールから脱落しないように、取り付けてください。

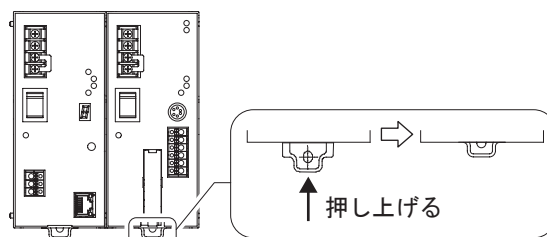
- (1) 本体下側にあるDINホルダーを引き出します。



- (2) 本体裏面のつめをDINレールに引っ掛け、壁面に押し付けます。



- (3) 本体下側のDINホルダーを押し上げます。



- (4) DINレールに固定されていることを確認します。
- (5) 左右をDINレール押さえ金具(形番83104567-001) 2個で固定します。

● ねじ直接取付

ねじ直接取付時の寸法を『図7 ねじでの直接取付』に示します。

横寸法は、組み付けるI/Oモジュール、オペレータパネル(一体型)、UTモジュールの台数によって変わります。

横寸法 = $120\text{mm}^{*1} + 30\text{mm}^{*2} \times n$ (台数)

*1 Inflex GD本体の幅

*2 I/Oモジュールの幅

斜線部は、メンテナンススペースを示します。

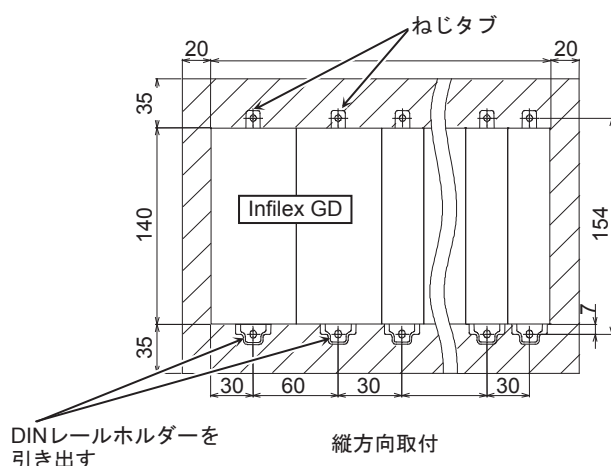


図7 ねじでの直接取付

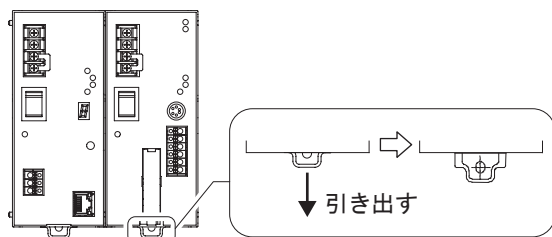
- (注) 1. 接続できるモジュールの詳細は、『AI-6527 Inflex GC、Inflex GD、Inflex AC、PARAMATRIX 4用 I/Oモジュール、ユーザーターミナルモジュール SAnet インタフェース 形RY50** 仕様・取扱説明書』をご参照ください。
2. オペレータパネル(盤表面型)は、Inflex GCに直接組み付きません。
詳細は、『AI-6546 オペレータパネル 仕様・取扱説明書』をご参照ください。

ねじ取付の場合は、別途手配品のねじタブ(形番 83165861-001)が必要です。

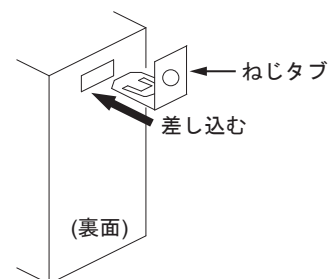
M4、L=8のねじにより設置面へ確実に取り付けてください。

(1) 取付場所にねじ直接取付のためのねじ穴を開けます。

(2) 本体下側のDINホルダーを引き下げます。



(3) 本体裏面にねじタブ(別途手配品 形番 83165861-001)を奥まで差し込みます。



(4) ねじタブの穴とDINホルダーの穴を使い、M4ねじで本体を固定します(図7)。

(5) 設置面に固定されたことを確認します。

■ 結 線

⚠ 警 告



配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。
感電のおそれや故障の原因になります。



端子カバーを着脱するときは、配線が活線状態でないことを確認し、結線作業後は端子カバーを元に戻してください。
端子カバーをしないと感電するおそれがあります。

⚠ 注 意



取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。



配線については、内線規程、電気設備技術基準に従って施工してください。
施工を誤ると、火災のおそれがあります。



端子台に接続する圧着端子に絶縁被覆を使用してください。
絶縁被覆がないと、短絡による火災や感電のおそれがあります。



端子ねじは確実に締めてください。
締め付けが不完全だと火災のおそれや発熱の原因になることがあります。



配線の被覆むき長さは、仕様に記載された寸法を守ってください。
長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡することがあります。短すぎると導電部が接触しないことがあります。

重要 !! ●電源を入れた状態でI/Oモジュールの抜き差しはしないでください。

故障の原因となることがあります。

- サージ防止具 (サージアブソーバ) には使用回路電圧・電流・耐容量などの定格種類があり、用途に応じて選定してください。

● 配線時の注意

- 配線でLEDおよびスイッチ、H-MMIコネクタ、バッテリーホルダー、表示タグが隠れないように束線バンドなどを利用して配線してください。
- ケーブルダクトから機器への配線部分は、たるまないように配線してください。

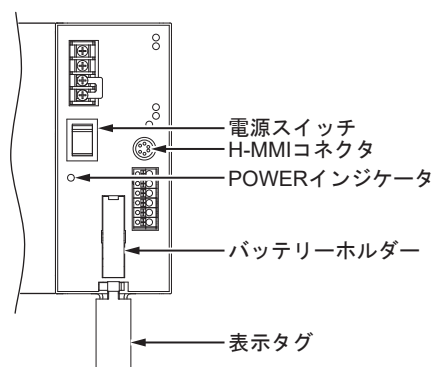


図8 配線の引きまわし

● 電源端子台への配線

M3ねじ端子台用の圧着端子を圧着し、ねじ端子台へ結線してください。

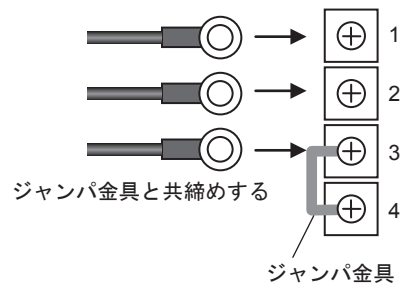


図9 電源端子台

● 機器内通信の配線

IP通信部と制御部の通信を結線します。

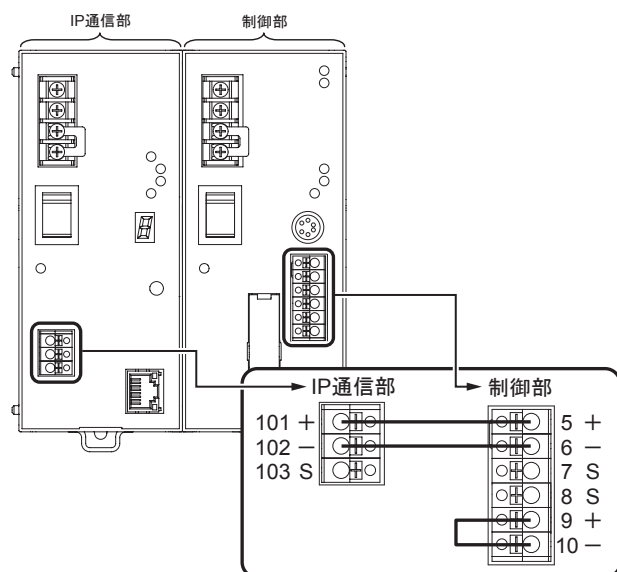


図10

通信端子台は、ワンタッチねじレス端子台です。

- Infilex GDは、ワンタッチねじレス端子台を採用しているため、圧着端子なしで結線します。通常のマークチューブでは電線を外したとき、抜け落ちてしまうことがあります。それを防止するため、次のフラットマークチューブを使用してください。

フラットマークチューブは、摩擦により電線に保持されるため、抜け落ちにくくなります。

メーカー名 : フェニックス・コンタクト (株)

品 名 : フラットチューブマーカ

品 番 : 5880029

型 式 : TMC-3

適合電線範囲 : $0.4\text{mm}^2 \sim 2\text{mm}^2$

梱包単位 : 200m/1巻

次の手順で結線してください。

- (1) 電線の被覆を8mmむいてください。

(注) 機器正面下部に被覆除去ゲージがあります。

8mmより長すぎると導電部が露出し、感電および隣接する端子間で、短絡する可能性があります。

また、短すぎると導電部が接触しない可能性があります。

- (2) 電線被覆をむいた部分に、ヒゲなどが出ていないことを確認してください。

- (3) 端子台のボタンをマイナスドライバーなどで奥まで押し、電線を挿入し、ボタンを離してください (ボタン押力は、23Nまでとします)。

- (4) 電線を軽く引っ張り、確実に固定されていることを確認してください。

また、ヒゲが出ていないことを確認してください。

(注) 電線を斜めに引っ張ると、断線するおそれがあります。

● Ethernetの配線

Ethernetを『図11 Ethernetコネクタ』に示すIP通信部のEthernetコネクタに接続します。

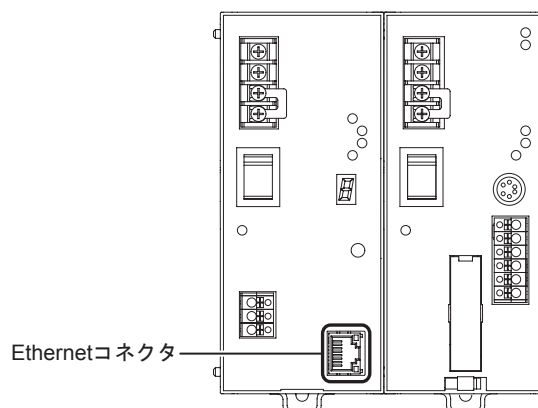


図11 Ethernetコネクタ

■ 取 扱

⚠ 注 意



本製品の空き端子は、中継などに使用しないでください。
故障の原因になることがあります。



本製品の通風孔を、ふさがないでください
(また、保護シートは設置・結線後にはがしてください)。
通風孔をふさいだままにすると、故障の原因になることがあります。

● 電源投入前の注意

(1) 結線が正しく行われていることを再度確認してください。

(2) 通电までの間に保護シートをはがしてください。

(注) 保護シートが貼ってある面以外(側面、底面)の通気口から製品内部へ異物が入り込む可能性がある場合は、通気口をビニールなどでふさいでください。

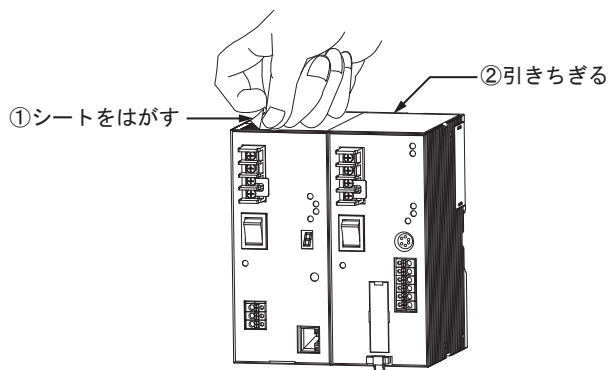


図12

(3) 電源投入後、正常に操作するまでに、数十秒を要します。

このとき、一時的に「重故障 (ERR1)」の赤色LEDが点灯します。異常ではありません。

⚠ 注 意



本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、安全のために新品に交換してください。
そのまま使用すると、火災のおそれがあります。

● H-MMI、PC-MMIの接続

(1) H-MMI (形番QY5111A) を接続する場合

変換ケーブルは、不要です。H-MMIのコネクタを直接差し込みます。

このとき、H-MMIのコネクタの ◀ マークを左側にし、本体表示の ▶ マークと合わせるように差し込んでください。

(2) H-MMI (形番QY7211A)、またはPC-MMIを接続する場合

D-SUBコネクタを変換ケーブル (形番83104995-001) を使用し、ミニDINコネクタに変換します。

このとき、コネクタの ◀ マークを左側にし、本体表示の ▶ マークと合わせるように差し込んでください。

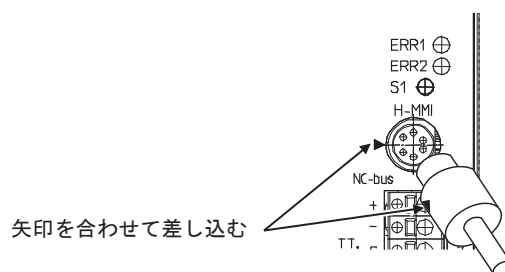


図13 MMIの接続

● コントローラNo.などの記入

表示タグの裏側は、系統表示ラベルになっています。

表示タグを裏返し、コントローラNo.を記入してください。

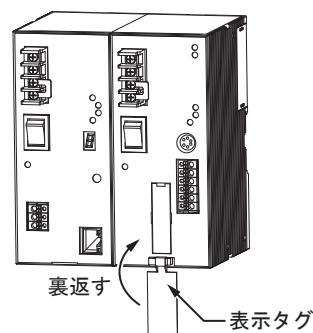


図14 表示タグへの記入

■ 表 示

● 制御部LED表示

項 目	製品表示	表示色	状 態	内 容
電 源	POWER	緑	点灯	電源ON
			消灯	電源OFF
重故障	ERR1	赤	点灯	重故障、またはリスタート時
			消灯	正常
軽故障	ERR2		点灯	軽故障、またはリスタート時
			消灯	正常
機器内	TX	赤	点滅	データ送信時
	RX		点滅	データ受信時

● IP通信部LED表示

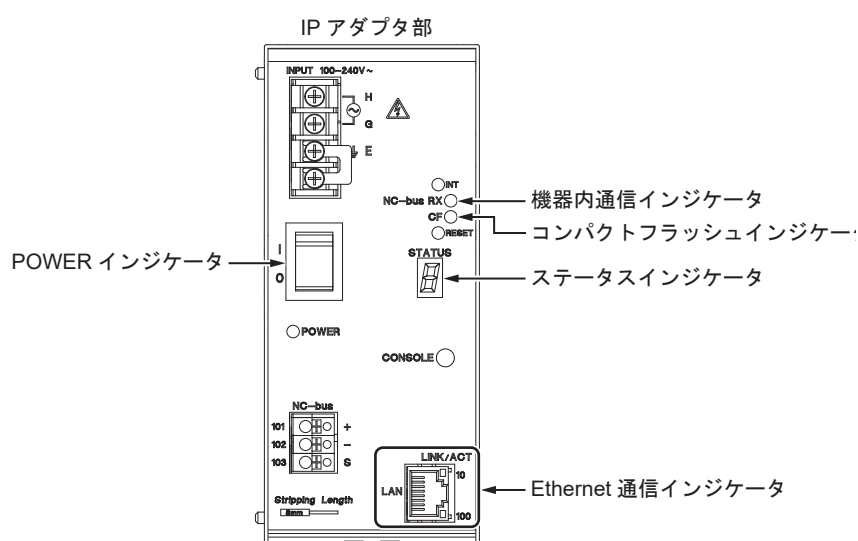


図15 LED表示

● Ethernet 通信インジケータ

Ethernetのリンク、データ送受信、伝送速度を示します。

項 目	製品表示	表示色	状 態	内 容
Ethernet 通信	LINK/ACT 10	— — —	消灯	接続対象とリンクが確立していない
		黄	点灯	接続対象と10Mbpsでリンクが確立している
			点滅	10Mbpsでデータ送受信中
	LINK/ACT 100	— — —	消灯	接続対象とリンクが確立していない
		緑	点灯	接続対象と100Mbpsでリンクが確立している
			点滅	100Mbpsでデータ送受信中

● 機器内通信インジケータ

機器内回線状態や、データ受信状態を示します。

項 目	製品表示	表示色	状 態	内 容
機器内通信	NC-bus RX	— — —	消灯	回線未接続
		緑	点灯	回線接続
			点滅	データ受信

■ 保 守

● バッテリー交換方法

⚠ 注 意



本製品のバッテリーを交換する場合は、本説明書で取付方法を確認のうえ、正しく取り付けてください。

バッテリーの発熱、破裂、液漏れの原因になることがあります。



使用後のバッテリーは火中に投げたり、そのまま廃棄しないで、各自治体の条例に従って適切に処理してください。

破裂や発火のおそれがあります。

重要 !! ● サービス担当者以外は、バッテリー交換をしないでください。

● 交換作業時、電源部に触れないでください。

● 製品使用状態 (通電状態) では、5年ごとに交換してください。

● 端子電圧チェックなどでは、バッテリー残容量のチェックができません。
5年ごとに交換を実施してください。

● バッテリー交換は、電源を切らないで行ってください。

● 製品が未使用、またはそれに近い状態 (無通電状態) が1年続いた場合は、バッテリーを交換してから製品の使用を開始してください。

- (1) マイナスドライバで、バッテリーホルダーを引き出します。
- (2) コネクタを外し、リチウム電池をバッテリーホルダーから外します。
- (3) 新しいリチウム電池をバッテリーホルダーに入れ、コネクタを接続します。
- (4) バッテリーホルダーを本体に入れます。
- (5) タグのバッテリーラベルに、5年後の年月を油性ペンで記載します。

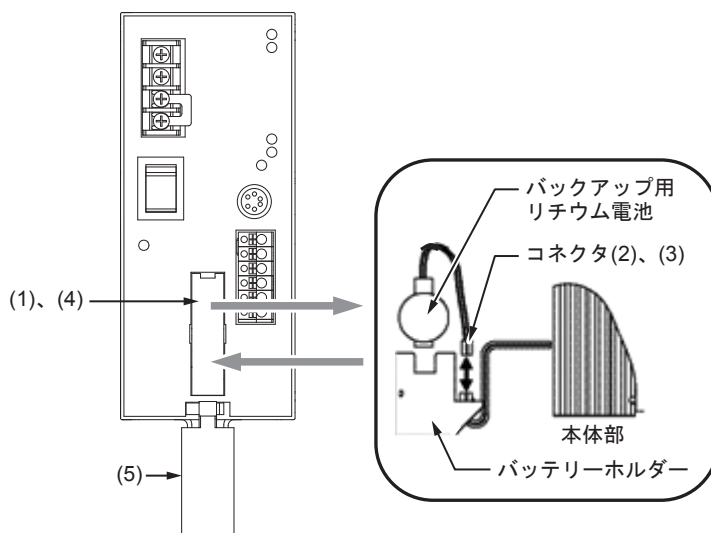


図16 電池の交換方法

● 本体交換

⚠ 警 告	
❗	配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。 感電のおそれや故障の原因になります。
❗	端子カバーを着脱するときは、配線が活線状態でないことを確認し、結線作業後は端子カバーを元に戻してください。 端子カバーをしないと感電するおそれがあります。
⚠ 注 意	
❗	端子ねじは確実に締めてください。 締め付けが不完全だと火災のおそれや発熱の原因になることがあります。
🚫	本製品を分解しないでください。 故障の原因になることがあります。

IP通信部と制御部の単位で交換できます。

* 取付・結線の詳細は、『■取付』『■結線』を参照してください。

- (1) 本体から結線を外します。
- (2) DINレール、または盤から本体を取り外します。
- (3) 精密ドライバなどで、IP通信部と制御部をつないでいるロックを外します（上下2個）。
- (4) 新しいIP通信部、または制御部と交換します。
- (5) IP通信部と制御部をロックで接続します（上下2個）。
- (6) DINレール、または盤に本体を取り付けます。
- (7) 結線をします。

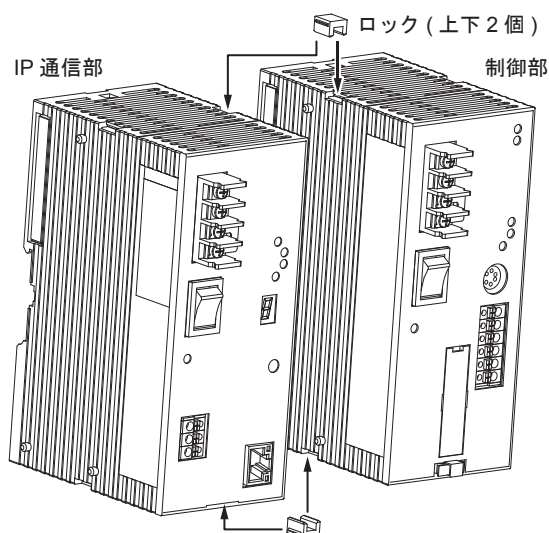


図17 本体の交換

Inflex GD (IPタイプ) 形番		交換形番	
		IP通信部	制御部
ワイド電源	WY5510W1000	83172980-202	83165878-212

■ 廃 棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。
また、本製品の一部、または全部を再利用しないでください。

* Inflexは、アズビル株式会社の商標です。
* Ethernetは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する
場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ
0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。